

平成27年度 御幸が原小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人権尊重の教育」を基盤として、心身ともに健康で創造力に富み、豊かな情操と正しい判断力・実践力のある「心豊かで、たくましく生きる児童」を育成する。

・やさしい子 ・たくましい子 ・よく学ぶ子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「教育は人なり」「学校は子どものために」の基本理念のもと、学校の教育力を最大限発揮し、自己実現が果たせる児童の育成と、児童・保護者・地域から信頼される学校を目指す。

児童の合言葉「やる気 本気 根気」 教職員の合言葉「温かい心とクールな頭 フットワークとネットワーク」

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 子どもたちが自信と誇りをもっていきいきとチャレンジする学校

・「知・徳・体」の調和のとれた教育活動を創意工夫し、自信と誇りをもってチャレンジする児童の育成に努める。

(2) 教職員が情熱と使命感をもち、共に学び合う学校

・教育専門職としての資質と能力の向上を目指して自己・相互研鑽に努め、「分かる授業の創造」「思いやり・規律ある学校づくり」の推進に努める

(3) 保護者・地域と共に歩む開かれた学校

・学校評価に基づき、学校・家庭・地域の協力と連携を深め、開かれた学校づくりに努める。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

自立～よりよい判断をし、学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

・様々な人や社会とのふれあいを通して、夢や希望をもっていきいきと取り組む児童の育成

【 学 習 指 導 】

・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、分かる喜びを実感できる児童の育成

○コミュニケーション能力を身に付けた児童の育成

【 児 童 指 導 】

・自分や友達を大切にする態度の育成（自他の敬愛）

○学校や社会のきまりを守り、公共物を大切にする態度の育成（規範意識・公共心）

【健康（保険安全・食育）・体力】

○体力の向上と安全な生活を目指す児童の育成

・運動の楽しさを味わい、力いっぱい活動できる児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、<u>児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化 <p>② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい活動の充実 	A	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="999 320 1430 398"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>88.8%</td> <td>88.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値は達成できているが、昨年と横ばいである。委員会活動や縦割り班活動の充実が課題と考える。</p> <p>【次年度の方針】 委員会の常時活動を充実させるために担当者が工夫して行っていきたい。計画委員会は5～6年を担当している担任外の教師も配属して効率よく進めていきたい。</p> <p>委員会の話し合い活動を活性化させるには、学級活動や国語の学習で基盤をつくったり、意見が出ないときは教師側から選択肢を提案したりする等の工夫をする。</p> <p>委員会の活動発表は集会だけでなく、校内放送で映像放送などの工夫をしていきたい。 縦割り班活動では認め励ます支援を工夫する</p>		H26	H27	児童	88.8%	88.0%		
		H26		H27								
児童	88.8%	88.0%										
<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童一人一人を見取り、声をかけ、よく話を聴き、よいところは認め、指導すべきところはきちんと指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝、教室で児童を迎える ・児童の話を聴く姿勢を第一に <p>② 保護者との連絡・連携を密にして信頼関係を築き、児童理解や児童指導に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談や学年だより等の活用 ・連絡帳や電話等での連絡・連携 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="999 949 1430 1070"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.4%</td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.6%</td> <td>89.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・保護者共に、昨年と横ばいである。教職員全員のきめ細やかで熱心な指導が、今年度も、高い評価を得られた</p> <p>【次年度の方針】 学年便りにコーナーを設け、学年や学級で行った行事等での子どもたちのつづやき・良さ・改善したいこと等を伝えることで、学校での子どもたちの活動の様子を知らせていく。</p>		H26	H27	児童	96.4%	96.6%	保護者	89.6%	89.1%
	H26	H27										
児童	96.4%	96.6%										
保護者	89.6%	89.1%										

A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」

⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

- ① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。
 - ・週の目標は行動目標とし、同一歩調での指導
 - ・「みはらのきまり」の見直し
- ② 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実に実行していく。
 - ・事例研究会や児童指導対策会議（毎月）の実施
 - ・「日々の様子」の拡充

【達成状況】

	H26	H27
児童	70.8%	76.4%
教師	56.4%	64.7%

児童・教師共に、昨年を大きく上回ったが、まだ目標値には達していない。今後も全職員で共通理解を図り、更なる児童指導の深化が必要である。

【次年度の方針】

- ・「みはらのきまり」を中核に据え、全職員の共通理解の元、一貫した姿勢で児童指導に当たる。
- ・週番目標は可能な限り行動目標を設定し、休み時間における週番の校舎内外見回りは、分担の平等化を考慮しながら確実に実行し、平素から児童の観察・指導を強化していく。
- ・各学年の発達段階に応じて、毎日の生活を振り返る場を設定し、秩序ある集団生活ができるよう指導を強化する。
- ・職員会議後の児童指導対策委員会は、時間的制約から今年度同様、情報の共有化にとどめ、必要に応じて個別の対策会議を開催する。
- ・学習情報システムの「日々の様子」を活用し、担任以外の児童に対しても積極的・多面的な記録の累積を図る。

A

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】

全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」

⇒児童の肯定的回答 80%以上

- ① 指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。
 - ・学習課題の明確化
 - ・板書計画
 - ・「分かる授業」チェックリストの活用
- ② TTや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。(3学年～)
- ③ 朝の学習の充実

【達成状況】

	H26	H27
児童	94.4%	94.4%

昨年同様高い肯定的回答を得られ目標を達成できた。「分かる・楽しい授業づくり」に取り組んだ成果が見られた。

【次年度の方針】

- 分かる授業を目指し、一人一授業を全職員実施した。若手教員は授業研究会をもち、今後も実施していく。
- 少人数指導や習熟度別学習を年2回、3年～6年で実施した。今後も児童にきめ細かい指導を行い、学力向上を図る。
- 朝の学習を利用し全学年で計算・漢字オリンピックを年2回実施したことで児童の意欲が高まり次年度も続けていきたい。

B

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し(5回)、気になる児童への教育相談を行う。</p> <p>② いじめゼロ強調月間(5月・9月)の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。</p> <p>③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だより等で保護者に伝え、連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>97.4%</td> <td>94.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>教師・児童からは昨年同様高い肯定的回答を得られたが、保護者・地域の肯定的回答は低い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の全児童を対象としたアンケート・教育相談、並びに、年3回のアンケート・気になる児童への教育相談を確実に、名簿に児童の実態を記入・報告し、組織的に対処していく。 ・いじめゼロ強調月間を中心に、学校での取組みを学校だよりで保護者に伝え、いじめに関する学校としての姿勢を保護者に伝える。 ・来年度もまた、「いじめ防止基本方針」等、学校で行っているいじめ対策についての周知徹底を図りながら、保護者との協力体制の元、いじめの根絶を目指す。 		H26	H27	教師	97.4%	94.3%			
	H26	H27									
教師	97.4%	94.3%									
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 学校評価を踏まえて教育課程を編成するとともに、学校行事・授業参観の実施後、職員間での話し合いや保護者によるアンケート等により、工夫改善を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.2%</td> <td>90.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年同様高い肯定的回答で目標を達成できた。反省を踏まえた充実した教育活動を展開することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>各行事等の見直しの方法が担当者裁量になっていて、改善できないことがある。対外的な物や全児童・全職員に関わる行事や活動等については、アンケートを取る。その他の行事は思いついたときに記入して担当者に提出できるように共通アンケート用紙を作成・活用して、改善を図るようにする。</p>		H26	H27	児童	90.2%	90.8%			
	H26	H27									
児童	90.2%	90.8%									
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校だより、学年だより、ホームページ等で、必要な情報は積極的に発信する。</p> <p>② 「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開日に地域の参加者が多くなるよう呼びかけを工夫・強化する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域</td> <td>96.2%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>93.9%</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年より高い肯定的回答で目標を達成できた。学校便りの充実と、ホームページが刷新され、よりリアルタイムで情報を積極的に発信することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>学校だよりやホームページの活用を進めると共に、学年便りの内容を検討し、学校の様子を積極的に伝えるようにする。(A2記入済)</p> <p>地域の方々への学校公開日の案内は、継続して回覧でお知らせすると共に、学校便り等でもお知らせする。</p>		H26	H27	地域	96.2%	100%	保護者	93.9%	96.9%
	H26	H27									
地域	96.2%	100%									
保護者	93.9%	96.9%									

<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と積極的に連携・協力し、学校運営の充実を図る。</p> <p>② 企業や専門家派遣の出前授業、街の先生、学校支援ボランティアを活用した授業を各学年1回以上実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1002 129 1433 212"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.0%</td> <td>91.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度も、学校と家庭・地域との連携・協力をより深めることができた。地域連携教員と地域コーディネーターの連携や活躍により、出前授業や学習支援ボランティアの積極的活用を実施し、より充実した楽しい学習とすることができた。</p> <p>【次年度の方針】 地域や企業と連携した学習効果は高いので、積極的に実施していきたい。内容をよく吟味し、子どもたちにとってよりよい授業となるように計画する。</p>		H26	H27	児童	90.0%	91.0%			
	H26	H27									
児童	90.0%	91.0%									
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 清掃の行き届いた校内を目指し、清掃活動に力を入れる。 ・学級中心の班での清掃活動 ・清掃用具の後片付けの徹底 ・身支度の徹底や反省の仕方の見直し</p> <p>② 教室掲示（黒板上）の統一</p> <p>③ BGMの効果を教育活動に生かし、落ち着きと潤いのある学校環境に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1002 622 1433 745"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>80.3%</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.8%</td> <td>90.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年より評価が上がり、目標値を達した。教職員の評価も上がっている。校舎内が潤いのある環境となってきている。校庭のごみも少なくなってきている。後は、児童の清掃に対する意識を高めていきたい。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の対策を継続し学習にふさわしい環境づくりを進めていく。</p>		H26	H27	児童	80.3%	84.8%	保護者	89.8%	90.6%
	H26	H27									
児童	80.3%	84.8%									
保護者	89.8%	90.6%									
<p>B 1 学校は、自他の生命や存在を大切にしている児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、自分の話や悩み・相談などをしんげんに聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。 ・年間1回、授業参観時に道徳の授業を実施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会実施、活用</p> <p>② 人権教育を全校体制で推進し、自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1002 1084 1433 1207"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>95.3%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>84.0%</td> <td>84.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童一人一人を大切に学級づくりに取り組んだ成果が表れ、児童・保護者共に、目標値を達成できた。人権週間を中心に、人権教育に力を入れて行ったことも高い評価につながった。</p> <p>【次年度の方針】 ・年間の授業参観において、1回は生命尊重や自他の敬愛に関する道徳の授業を展開し、保護者に理解を求める。 ・3年生以上は年1回（5年は2回）のQ-Uテスト・事例研究会を実施し、少なくとも学年内で共通理解を図り、学級経営に生かしていく。 ・人権週間では、各クラスで「友達のいいところさがし」を実施するとともに、お昼の放送で代表児童が人権作文を発表し、人権に対する意識を高める。また、年に一度、人権標語を作成し、掲示を行う。</p>		H26	H27	児童	95.3%	94.4%	保護者	84.0%	84.6%
	H26	H27									
児童	95.3%	94.4%									
保護者	84.0%	84.6%									

教育活動の状況

生活

A10 児童は、進んであいさつをしている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童はあいさつをしている」
⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答80%以上

- ① 児童会（親切委員会・計画委員会）が中心となってあいさつ運動を実施する。（6月・10月に強化期間を設ける。）
 - ・学級懇談会時にあいさつ励行を保護者に伝える。
 - ・学校だより等であいさつを保護者に促す。
 - ・あいさつ標語・ポスターの募集。
- ② 地域連携及び地域学校園で共通課題として、あいさつ運動を展開する。

【達成状況】

	H26	H27
児童	79.5%	83.9%
教師	43.6%	57.1%
地域	64.0%	78.3%

児童・教師・地域共に、昨年より肯定率が上がり、児童は目標値を達成できた。あいさつ運動を始め、多様なあいさつについての取組みを実施してきた成果の表れである。

【次年度の方針】

- ・あいさつは人間関係づくりの始まりとしてとらえ、年間を通して、様々な機会を通して指導していく。
- ・保護者に対しては4月、当初の学級懇談時にあいさつを重点指導の一つとしてとらえている学校の姿勢を示し、学校と家庭が連携しながらあいさつの励行を進めていきたい。
- ・学年だよりや学校だよりを通して、あいさつの実践を紹介し広げていく。
- ・児童に対しては、日常の指導はもとより、遠足や授業参観等をあいさつの指導のよい機会としてとらえ、事前・時中・事後指導を行う。
- ・あいさつ運動強化期間を実践するとともに、他にも児童が自主的に考えた活動に関しては、尊重しながら助言・指導を行う。

A

A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」
⇒児童・教師・地域住民の肯定的回答80%以上

- ① 発表の仕方、敬語の使い方等について学年の発達段階に応じた指導をする。
- ② 「ふわふわ言葉」「学級で使っていきたい言葉」をもとに、思いやりに満ちたコミュニケーションの醸成を図るとともに、学校だより等で保護者に伝える。
- ③ 国語・道徳等で正しい言葉づかいについて指導をする。

【達成状況】

	H26	H27
児童	70.2%	71.1%
教師	33.3%	40.0%
地域	56.0%	65.2%

教師・地域の肯定率は上がったが、まだまだ目標値には達していない。言葉づかいについては引き続き指導が必要である。

【次年度の方針】

- ・発表の仕方や敬語の使い方等については、学年の発達段階に応じた継続指導を行う。
- ・学校だけでなく、家庭や地域においても正しい言葉遣いが大切であることを意識させていく。
- ・「ふわふわ言葉」「学級で使っていきたい言葉」は、まず、5月のいじめゼロ強調月間に各学級で話し合い、結果を掲示する。次に、9月にはそれらを修正したり追加したりして、さらに言葉遣いの大切さを意識化させる。

B

<p>B2 健康や安全に気をつけ、きまりよい生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分の身体や生活態度に関心をもち、健康や安全に気をつけて生活している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昨年度の生活についての実態調査をもとに（特に睡眠時間・家庭学習・携帯電話）、家庭との連携を図り啓発や指導をする。（学年だより等で結果や指導について取り上げる。）</p> <p>② 施設・遊具の安全の点検を徹底するとともに、適切な使用の仕方等に関して指導を強化する。また、各種避難訓練などで、危機を適切に判断し対応する態度の育成に努める。</p> <p>③ 登下校指導の徹底 ・ 班長会議の実施 ・ 登校指導の改善</p> <p>④ 廊下の安全な歩行について指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>79.1%</td> <td>77.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童自身は気をつけて生活していると回答しているが、教師や保護者の回答率は目標値まで達していない。廊下の歩行・登下校の仕方には、まだまだ指導が必要である。</p> <p>【次年度の方針】 保健室の利用は減ってきているので、さらに健康・安全に意識をもてるよう睡眠時間・家庭学習・携帯電話について家庭との連携を図る。 遊具で遊ぶ児童の中には、決まりを守ることへの声掛けが必要なことがある。決まりを守って遊べるよう、指導を続ける。 登下校については、今後も継続して指導を続ける。 廊下の歩行については、クラスの実態に合わせてクラス単位で指導を続ける。</p>		H26	H27	保護者	79.1%	77.3%			
	H26	H27									
保護者	79.1%	77.3%									
<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで運動している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①自ら健康や体力作りに励めるように体育や学校行事・特別活動等の工夫に努める。 ・ みはらチャレンジギネス ・ マッチョマンだよりの発行 ・ 外遊びの励行 ・ マッチョマンカードの活用</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>84.3%</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>76.9%</td> <td>82.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>教師・児童共に、目標値を達成できた。マッチョマンだよりやチャレンジギネスでやる気を引き出して、積極的に運動する児童が増えてきている。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の対策を継続し指導する。</p>		H26	H27	児童	84.3%	84.4%	教師	76.9%	82.9%
	H26	H27									
児童	84.3%	84.4%									
教師	76.9%	82.9%									
<p>健康・体力</p> <p>A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 食育の充実を図る。 ・ 教育相談を活用した個別指導の強化 ・ 各教科での食に関する指導 ・ 給食だよりの発行 ・ お弁当の日の活用 ・ 好き嫌い克服メニューの工夫</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>69.3%</td> <td>72.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標値にはまだ達してはいないが、工夫を凝らした食育指導の成果が表れ、肯定率が上がってきている。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の対策を継続するとともに、お弁当の日を増やして意識を高めていく。</p>		H26	H27	児童	69.3%	72.0%			
	H26	H27									
児童	69.3%	72.0%									
<p>B4 児童は、本の楽しさを味わっている。</p> <p>全体のアンケートの「児童は、読書を楽しんでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 読書意欲の向上を図るための環境・指導の充実を図る。 ・ 担任・司書嘱託員やボランティアによる読み聞かせの充実 ・ みはら読書タイム・図書まつり（委員会）・お話し会 ・ 家読のすすめ【親子読書等】</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>81.1%</td> <td>84.8%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>64.6%</td> <td>63.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は上がってきた。学校での読書は楽しんでいるので、家庭での読書意欲の向上を図ることが課題である。</p> <p>【次年度の方針】 親子読書を実施するだけでなく、提出された読書カードを掲示して保護者に啓発する。</p>		H26	H27	児童	81.1%	84.8%	保護者	64.6%	63.2%
	H26	H27									
児童	81.1%	84.8%									
保護者	64.6%	63.2%									

	<p>A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「授業中進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。 ・国算チャレンジタイム等を活用した学習支援の充実 ・宮っ子ステップアップシートの活用</p> <p>○②家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。 ・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用 ・保護者への協力依頼 ・自主学習ノートの活用</p> <p>② 話合いの仕方の指導</p>	A	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>83.5%</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>81.6%</td> <td>73.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童は若干上がったが、教師の回答が目標値を下回ってしまった。話合い活動の充実や発表力の向上を目指したい。</p> <p>【次年度の方針】 「話す・聞く」においては国語科の単元を丁寧に指導し表現力を育てていきたい。一人・ペア・グループなどの活動で伝え合う活動を充実させていきたい。</p>		H26	H27	児童	83.5%	86.2%	教師	81.6%	73.5%
	H26	H27											
児童	83.5%	86.2%											
教師	81.6%	73.5%											
学 習	<p>A15 児童は、落ち着いた学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「授業中話をよく聞くなど落ちついて学習している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①基本的な学習態度・技能（聞く・話す）の育成に努める。 ・「話し方」「聞き方」の合言葉を作成し、教室掲示をして活用する。</p> <p>③ 学びに向かう集団づくりのための学級経営の充実を図る。 ・自由に情報や意見を交換し合う場の設定 ・クラス目標の掲示とその達成に向けた全員での協力と努力</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>75.0%</td> <td>81.5%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>87.2%</td> <td>85.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定率が上がり目標値を達成した。学習態度（聞く・話す）が身に付きつつあり、学びに向かう集団に近づいている。</p> <p>【次年度の方針】 友達を認め合える学級は学習の前提であり、今後も落ち着いた学級経営を、心がけていく。</p>		H26	H27	児童	75.0%	81.5%	教師	87.2%	85.3%
	H26	H27											
児童	75.0%	81.5%											
教師	87.2%	85.3%											
	<p>B3 喜んで運動に取り組む、運動能力や体力の向上に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「体育の授業などで、自分の記録や技を伸ばそうと努力をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 水泳検定・縄跳び等のカードを有効に活用する。</p> <p>② みはらチャレンジギネス・スポーツ大会・長縄跳び大会等の実施により、目標を持って練習する意欲を高める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>82.7%</td> <td>83.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>昨年度とほぼ横ばいである。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の指導を継続する。</p>		H26	H27	児童	82.7%	83.8%			
	H26	H27											
児童	82.7%	83.8%											
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>B5 保護者や地域など周りの人とのかかわりを大切にす る地域に根ざした教育活動を展開し、地域を愛する児童の育成に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、地域の人とのかかわりを大切に した教育活動を展開している。」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 地域の文化や様々な人とのふれあいの機会をもち、自分が住んでいる地域への関心や愛着心をもたせる。 ・地域行事へ児童の参加を積極的に奨励</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度も、地域協議会を中心として地域自治会や育成会と協力して子どもを育てるとい う本校の特色が高い評価をいただいた。</p> <p>【次年度の方針】 地域行事への子どもたちの参加はさかんである。今後も積極的に参加を奨励していくと共に、可能な限り教職員も参加し、地域を愛する児童の育成に努めていく。</p>		H26	H27	地域	100%	100%			
	H26	H27											
地域	100%	100%											

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・昨年度の結果より更に、全体的に教職員・保護者・地域の肯定的回答の割合が高くなってきている。毎年、課題を解決できるような方策を検討し、信頼される学校づくりの推進に努めた成果が、年々表れている。
- 「授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序ある安全な学校づくり」については、教職員・保護者・地域・児童、全対象で昨年度よりも大きく上回っている。保護者や地域と連携を図りながら、全職員一丸となって取り組んだので、子どもたちが落ち着いた学校生活を送ることができようになってきた。
- あいさつや言葉づかい、給食については、少しずつ改善されてきてはいるが、まだ目標値は達していないので、今後も保護者・地域・地域学校園との連絡を密にし、地域ぐるみで、あいさつ・正しい言葉づかい及び食育に関する運動を展開していく必要がある。

6 学校関係者評価

- ・昨年度に引き続き、肯定的回答率が高く、学校の教育活動や取り組みについてのご理解を得て高い評価をいただいた。
- ・学校が地域にとけこみ協力は大きい。児童1人1人皆個性があるので先生も大変である。先生は児童又は家庭環境により個人差の出ている児童にも良く指導してくれているので、地域では感謝している。
- ・放課後の自転車の乗り方のマナーがあまりよくない子がいる。6年生の男の子、自転車で、西門からゲオの方へ渡っていて、危険である。注意してもなかなかできない。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- 来年度も、教職員の資質向上を図り、より一層「分かる・楽しい授業づくり・思いやりと規律ある学級づくり」の推進に努め、信頼のある学校づくりを目指していく。
- あいさつや言葉づかい、決まりを守ることについては、保護者・地域や地域学校園との連絡を密にし、地域ぐるみで、あいさつ・正しい言葉づかい・決まりを守ることに関する運動を展開していく。食育についても、家庭や地域学校園と連携を図りながら進めていきたい。
- ・これからも地域協議会と連携し、ご意見をいただきながら、教育支援ボランティアの活用や安全面での支援・地域行事への積極的参加を通して、保護者・地域と共に歩み開かれた学校づくりをしていく。